



尾道食糧企業組合 外観

瀬戸内の海を臨むベイタウン尾道エリア内に社屋を構え、米麦卸売業・LPガス販売・ガス機器販売・施工事業を展開する尾道食糧企業組合。設立から70年以上を経た今もなお、食とエネルギーの供給により地域の人々の快適で安全な暮らしを支えている。

尾道ならではの課題とガス切れ不安の解消に向けて

尾道市を中心に福山市・三原市などにも顧客を持つ同組合。遠方顧客宅への検針はもとより、車両が入ることができず歩いて赴く必要のある顧客宅での検針もあるため、その業務負荷はとてもし大きかったという。プロパン部常務理事の妹尾充敏さんは「狭い路地や山手に伸びる急な階段など、尾道ならではの風情ある美しい街並みが、検針や配送業務にとっては仇となってしまっていて…」と語る。保安業務も兼任しているため、検針作業中に「ガスがでない」「ガス臭い」「お湯がでない」などの連絡が入った場合には、今いる検針場所とは真逆の場所へ急行を余儀なくされることもあった。

これらの課題解決に向け実施したLPWA機器の設置により、検針業務に要していた4人×2日間ほどの時間を、現在は保安業務に充てることができている。また、事務所で異常検知が可能のため電話による原因確認の実施、遠隔での停止・復帰などにより顧客の不安に対して迅速な対応が実現できていると話す。

従来のシステムによる月1回の検針と過去の予測値による残量管理では、数値にムラがでてしまうため配送管理が難しく、冬場の急な使用量変化に伴うガス切れ危険水域への不安の解消も課題としてあった。LPWA設置後はその心配も減り、配送効率の向上にもつながっている。「これまでは冬場、ガス切れが心配で1本のポンベを抱えて顧客宅へ向かったこともありましたが」と話すプロパン部の杉原忠義さん。今はそういった心配や精神的プレッシャーが減ったと笑顔をのぞかせた。



ガスの使用状況や異常時の初期対応なども事務所内で行うことができる。画面を操作する代表理事 栗村文彦さん(左)と常務理事 妹尾さん(右)

電波不良も乗り越え、顧客の約59%への設置を完了

2年にわたり補助金申請を行い、山間部や遠方を中心に顧客の59%ほどにLPWAの設置が完了している同組合。補助金制度がスタートする以前から数十台のLPWAを設置していたこともあり、使い慣れたシステムが良いという判断で既設のものと同じメーカーを選定。事前の周知にはチラシを配布、訪問時に説明を実施した。

設置作業において、山間の顧客宅への設置は電波の状態が悪い箇所があるため少々苦勞を要したという。「安定した電波の入る設置位置を模索し何度も付け直しさせていただいたり、中には20mも通信線を延長した場所もありました」とプロパン部の井上経朗さんは当時を振り返る。

お客様各位 2023年 月 吉日
尾道食糧 プロパン部

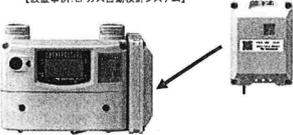
LPガス自動検針システム設置による検針日変更について

平素は特別のお引き立てを賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
さて、弊社ではこの度 LPガス自動検針システム(以下、本システム)を導入する事となりました。
お客様宅に取り付けさせて頂いているガスメーターと、本システムを連動し無線通信により検針データの取得とお客様のLPガスの安全と安心を24時間お守りするものです。
このシステムの導入に伴い、下記検針日へ統一させて頂く事となりました。

敬具

検針日に関して:	月より毎月1日に自動検針させて頂きます。
お支払いに関して:	従来と変更はございません。
請求書に関して:	毎月月上旬に任意ハガキにて郵送させて頂きます。

【設置事例:LPガス自動検針システム】



お問い合わせ先

尾道食糧企業組合 プロパン部
営業時間 8:30~17:30 (土・日・祝 除く)※第一・第五 土曜日は営業日
尾道市東尾道5番地4 TEL 0848-40-0200

事前告知で使用したチラシ

設置を検討される企業へのアドバイスと今後の展望

ランニングコストや設置するエリアの課題の洗い出しを行うのはもちろんだが、申請にあたり設置前後の写真のクオリティ確保も大切だと言う。写真が不鮮明で何度か再撮影した経験に基づくアドバイスである。

また、今後は時間外の緊急時対応を委託している機関ともシステム連携することで、夜間の緊急時対応の効率化も図りながら、更にお客さまの安心感を高めていきたいと展望を語った。



LPWA設置に携わるプロパン部の杉原さん(左)、井上さん(中央)、妹尾さん(右)。取材時の和氣謹々とした雰囲気からもチームワークの良さが伺える。

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	オミチヨクヨクヤクマイ		会社所在地		広島県尾道市東尾道5-4			
	尾道食糧企業組合		事業責任者名		栗村 文彦	役職名 代表理事		
連絡先	部署名	プロパン部	電話番号		0848 - 20 - 2050	従業員数 9 名		
	担当者名	妹尾 充敏	ホームページ					
会社設立	西暦	1952 年	月	日	顧客件数	1,249 件 内家庭用 1,204 件 業務用 45 件		
事業内容	1. LPガス販売 保安管理 ガス器具販売施工 2. お米販売 配達 3. 業務用食材販売配達 4.							
会社の強み	1. 地元密着型で根付いていた店会社なので顧客から気軽に声をかけてもらえる事が多いです。 2. 3. 4.							
LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安							
	<具体的活用方法> 検針業務 ボンベ配送 残量管理 異常等の早期発見							
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> 配送管理では今の管理ソフトだと月1の検針と過去2年間のガス使用量の憶測値で動いていたので残量管理にもむらがあった。							
	<導入によって期待する効果> 週1検針で検針値を読み込ませているので冬季や急な使用量変化にも対応出来、ガス切れの危険水域が全く無くなりました。検針日が統一出来、遠方や難検針(家の中や鍵を開けてもらう所)、悪天候等での検針が楽になりました。							
導入費用	総金額	1,587,600 円		内補助金対象金額	1,587,600 円	補助金額 793,800 円		
導入期間	補助金申請日	西暦	2022 年	5 月	25 日	所要期間	実行体制	
	機器設置完了日	西暦	2022 年	11 月	- 日	3 ヶ月	合計	7 名 内社内 6 名 内社外 1 名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	2年前から矢崎製のを20台近く使用していたのでシステムや設置方法が同じ矢崎製以外考えられなかったです。
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 設置後通信エリアの可否が現場では確認しづらかったです。
	<上記問題点を改善した方法> 電波が入るエリアまで通信線を延長しました。(20m延長した所もあった)
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	検針業務が数分で終わるので他の業務に時間が使えるので有難いです。
導入によって削減できた費用	検針日数2日かかっていたので 4人×2日分が削減出来ました。
反省点	取り付けた後、谷や山が邪魔して電波が入らなかった事があり 設置場所を数回変えた所があって そのお客様には迷惑をかけました。

今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他 ()
---------	--

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)	評価5または4の具体的な理由
		●申請作業	3	普通
●仕様確定	2	あまり大変ではなかった	以前から使用中の機器です	
●メーカー選定	1	大変ではなかった	〃	
●事前周知	2	あまり大変ではなかった	以前もテンプレート作成していたので	
●設置工事	2	あまり大変ではなかった		
●試運転	4	やや大変だった	電波エリアの可否が不安でした	
●その他 ()				
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	検針業務の簡略化が出来、時間が有効に確保出来るようになりました。		
	業界・取引先などの社外から			
	お客さまから	検針に行かないので「顔を合わす事が少なくなるから悲しい」との声が多かったです。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	設置前後の写真を撮り忘れ、また、逆光などで写りの悪いものもあったので、違うアングルで数枚撮ってもらうようお願いしました。			